

クレオ大阪中央

研究室長コラム データで読む男女共同参画

# なぜ、関西圏の男性の「イクメン度」は低い？



2019年の出生数が90万人を割り込むというニュースが示すように、ますます人口減少が明瞭になりつつあります。これは2017年の推計より2年早い速度です。出生数の減少は、出産や子育てに有効な環境作りや政策という少子化対策の効果が出ていない結果といえるでしょう。実は、グローバル水準では出産や子育ては女性だけが頑張る両立支援から、男女がともに担う「家族的責任」政策にシフトしています。1981年のILO156号条約は男性も育児というケアワークをすることとし、日本も同条約を1995年に批准しました。つまり、21世紀、男性も女性と共に育児への責任があるのです。

とはいえ2019年、出生数の推計値をこえる減少の一方で、男性育児休業取得はおおいに進んでいるとはいえにくいようです。育児介護休業法や次世代育成支援対策推進法によって育休取得が促されても、実際には、欧米と比べると日本の子育て期の夫の家事や育児に費やす時間はまだまだ少ない現状があります。男性の育児休業取得率の低さや取得期間の短さが示すように、時間基準で見たときの日本の男性の「イクメン度」は高いとはいえにくいでしょう。

日本の家事育児時間データは5年に一度実施される社会生活基本調査に基づいています。同調査は日本国内でかなりの地域差があることを示しています。そして全国都道府県別の家事育児時間データでみると、大変残念なことに関西圏のイクメン度は相対的に低位にあります。全国平均の1時間07分に近いのは三重県の1時間05分だけです。

大阪市の位置する大阪府は56分で37位、滋賀県52分で42位、兵庫県は51分で43位、そして和歌山県は44分で全国最下位47位です。それに対して秋田、岩手、埼玉、島根、徳島、宮崎などは1時間半をこえ6位までに入っています。ただ東京1時間17分で10位、神奈川1時間07分で20位という水準を考えると、気にするほどの差ではないという評価も可能かもしれません。

この地域差のあるデータから推測できることは、ひとつは首都圏や地域の男女参画意識や職場風土の差です。それと共に、共働き率が高い地域でイクメン度が高くなる、つまり女性就業率の水準が高いと男性の家事時間や育児時間が増えるといえます。あるいは、近年の女性就業率上昇を考えると、近畿圏では男性の長時間労働が家事・育児参加率を低めている可能性もあります。

しかし、その点と関連してもっと切実に地域差に作用しているのは家庭です。時間の長さです。一般に都市部でゆとりある広さ住まいを優先するとき、住宅・交通事情から通勤時間は長くなりがちです。イクメン度ランクの高い地域との住宅確保事情が関西圏の事情と異なっていることは考慮すべきでしょう。その意味で、日本全体での長時間労働に加えて長い通勤時間も関西で働く男性から家事育児時間を奪っているといえます。

## イクメン!?ランキング

| 順位   | 都道府県名                    | 時間 | 分  |
|------|--------------------------|----|----|
| 1    | 秋田県                      | 1  | 44 |
| 2    | 岩手県<br>埼玉県               | 1  | 37 |
| 4    | 島根県                      | 1  | 36 |
| 5    | 徳島県                      | 1  | 33 |
| 6    | 宮城県                      | 1  | 32 |
| 7    | 大分県                      | 1  | 26 |
| 8    | 富山県                      | 1  | 24 |
| 9    | 岡山県                      | 1  | 19 |
| 10   | 東京都                      | 1  | 17 |
| 11   | 広島県                      | 1  | 15 |
| 12   | 山梨県                      | 1  | 13 |
| 13   | 栃木県                      | 1  | 10 |
| 14   | 新潟県<br>高知県               | 1  | 9  |
| 16   | 山形県<br>群馬県<br>千葉県<br>佐賀県 | 1  | 8  |
| 20   | 神奈川県                     | 1  | 7  |
| 21   | 長野県<br>静岡県<br>愛媛県        | 1  | 6  |
| 24   | 三重県<br>香川県               | 1  | 5  |
| 26   | 愛知県<br>奈良県               | 1  | 4  |
| 28   | 沖縄県                      | 1  | 3  |
| 29   | 山口県<br>福岡県               | 1  | 2  |
| 31   | 北海道                      | 1  | 1  |
| 32   | 茨城県                      | 1  | 0  |
| 33   | 岐阜県<br>長崎県               | 0  | 59 |
| 35   | 福井県<br>鳥取県               | 0  | 57 |
| 37   | 大阪府<br>宮崎県               | 0  | 56 |
| 39   | 石川県<br>熊本県<br>鹿児島県       | 0  | 53 |
| 42   | 滋賀県                      | 0  | 52 |
| 43   | 青森県<br>兵庫県               | 0  | 51 |
| 45   | 京都府                      | 0  | 50 |
| 46   | 福島県                      | 0  | 49 |
| 47   | 和歌山県                     | 0  | 44 |
| 全国平均 |                          | 1  | 07 |

【資料】総務省統計局「社会生活基本調査からわかる47都道府県ランキング」

2019年12月8日取得

<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2011/rank/rank2.html>

(注) 6歳未満の子供がいる夫の1日当たりの家事関連時間

(夫婦と子供の世帯、土日を含む週全体の平均)

※家事関連時間…「家事」、「介護・看護」、「育児」および「買い物」の合計